演題番号	演題ID	時間	セッション名	演題名
O-063	a90027			多摩地域の内科医における糖尿病とCKDに関するアンケート調査(第2報)
0-064	a90051			地域医療ネットワークシステムの効果と評価研究
O-065	a90300	8:50~9:40	疫学/統計	栃木県の健康課題抽出及び死亡率における都道府県格差に及ぼすリスク因子の検討
0-066	a90330			健診受診女性において、総テストステロン値はHbA1c値および空腹時血糖値と逆相関する
O-067	a90415			Estimated glomerular filtration rateを体表面積で補正する意義:CAVIによる検証
O-068	a90023			心不全でサクビトリル・バルサルタンを内服中に尿中C-ペプチドの異常高値を認めた1例
0-069	a90075			歯科医院受診者から糖尿病を早期に発見する取り組み:多施設共同前向きコホート研究
O-070	a90085	9:40~10:30	検査	ARNI併用中に尿中C-ペプチド異常高値を認めた2型糖尿病の1例
O-071	a90248			HbA1cおよびグリコアルブミンがともに偽低値と考えられた劇症1型糖尿病の1例
O-072	a90333			2型糖尿病を有する日本人における血中Wisp1、Mtrnl、FGF23の検討
O-073	a90393			筋萎縮性側索硬化症を合併したHNF1B-MODY(MODY5)の1例
0-074	a90149			母系遺伝せず, 難聴もなかったミトコンドリア糖尿病の1例
O-075	a90341	10:30~11:20	遺伝子	高齢期にMELASを発症したミトコンドリア糖尿病の一例
0-076	a90414			HNFA1遺伝子に新規病原性変異を認めたMODY3の一例
O-077	a90448			セマグルチドが有用と考えられるAlstrom症候群(AS)の1例
0-078	a90083			ポンプトラブルとSGLT2阻害薬過量内服にて正常血糖ケトアシドーシスを来した1型糖尿病の1例
0-079	a90112			SGLT2阻害薬内服症例における術後のケトン体の上昇について
O-080	a90143	11:20~12:10	治療(SGLT2i)	SGLT2阻害薬(SGLT2i)により真菌性腎盂腎炎をきたした1例
O-081	a90187			SGLT2阻害薬と超速効型インスリン併用で著効したダンピング症候群の1例
0-082	a90267			SGLT2阻害薬の導入を契機にインスリン抵抗性が改善した2型糖尿病患者の1例
O-083	a90213	14:30~15:10	治療(GLP-1)①	当院におけるチルゼパチドの有効性と安全性の検討①
0-084	a90007			チルゼパチド開始後に正常血糖ケトアシドーシスを呈した非肥満非糖尿病の1例
O-085	a90030			dulaglutideの出荷制限によりsemaglutideに切り替えた2型糖尿病症例の検討
0-086	a90056			GLP-1受容体作動薬により血糖が改善した,インスリン抗体陽性の2型糖尿病患者
O-087	a90079	0 15:10~15:50	治療(GLP-1)②	上部消化管内視鏡検査でセマグルチドの影響と考えられる多量な胃残渣を呈した一例
O-088	a90130			チルゼパチド導入後の詳細な血糖推移が確認できた2型糖尿病の2例
O-089	a90191			高血糖緊急症にチルゼパチドを導入し糖尿病性ケトアシドーシスに陥った1例
O-090	a90194			DKA発症後チルゼパチドを導入し、早期にTDDの減量に至った2型糖尿病の一例
0-091	a90351			過食を誘因とした繰り返す急性膵炎、血糖増悪にチルゼパチドを導入した1例
0-092	a90461			強化インスリン治療中にチルゼバチド投与でインスリンを離脱しえた2型糖尿病の一例
0-093	a90468	15:50~16:40	治療 (GLP-1) ③	当院糖尿病外来における2型糖尿病患者に対するチルゼパチドの長期使用成績
0-094	a90485	_		体重減少の視点から見たセマグルチドにSGLT2阻害薬、メトホルミンを併用する意義
O-095	a90001			チルゼパチドの適応外使用により、低血糖およびケトーシスを来したるい痩の一症例